

第22回 FiaS Monthly Caféのご案内

福岡市産学連携交流センター入居者及び関係者の皆様

平素よりセンターの運営にご協力をいただき感謝申し上げます。

FiaS では入居者の相互交流を一層深めるとともに、市民・地場企業等のみなさまの出会いを促進する場としてセンターの活用をはかるべく、公開形式の交流会「FiaS Monthly Café」を開催しております。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和3年10月22日（金）16時00分～17時00分

会場：オンライン開催（Zoom ミーティング）

話題提供者：横山 拓史 氏（九州大学名誉教授）

話題：地熱エネルギー利用のお話

東日本大震災後の福島第一発電所の事故と地球温暖化問題への取り組みとしてのカーボンニュートラル政策により純国産の再生可能エネルギーに関心が集まっています。本日の話題である「地熱発電」もその一つです。九重地域を訪れた多くの方が、九州電力八丁原発電所を見学する機会を持たれ地熱発電の仕組みについて説明を聞かれたことと思います。地熱発電は火山のマグマだまりの熱を利用するので、世界有数の火山国である日本の地熱資源量は米国とインドネシアに次いで世界第3位に位置し、出力にして23,470MWのポテンシャルがあると考えられています。そのポテンシャルは早くから評価され地熱エネルギーを用いた発電も試みられてきましたが、日本特有の障壁が足かせとなり2016年度時点での日本の地熱発電導入量は世界で10位の53.7万kWとポテンシャルのわりに出遅れています。加えて、地熱発電所の安定な運転を阻害するスケール問題があります。右に熱水輸送管に沈殿付着したシリカスケールの写真（九州大学総合研究博物館）を示します。今回は、地熱発電の歴史、地熱エネルギー抽出とスケール生成問題との関係、今後の地熱開発などについてお話しする予定です。



参加方法：どなたでも参加できます（無料）。参加ご希望の方は、[下記 URL](#) または [右 QR コード](#) から、本 Zoom ミーティングサイトにアクセスし、参加登録してください。



★参加登録サイト URL：

<https://isit-or-jp.zoom.us/meeting/register/tZYlf-6grjMrE9whcSceuSc9UI3xfIYntDte>

登録後、ミーティング参加用 URL など、必要な情報がメールで自動返信されます。当日は開始 15 分前から接続可能です。お好きな飲み物を片手に、どうぞお気軽にご参加下さい。

主催：FiaS 交流促進ワーキンググループ（福岡市、ISIT、OPACK、九州大学、西鉄ビルマネージメント）